

放射線情報まとめニュース

ライフ*とみおか

Life Tomioka
VOL 31
Radiation Information Summary News
2025



Topics

3年間総まとめ！

山菜の調査報告

P1-2



Contents

P3-4 / 弘前大学の学生が富岡町で
フィールドワークを実施

表紙の様子は
こちらで詳しくご紹介！

P5-6 / とみっぴーと学ぼう！とみおか放射線クイズ
P7 / 町内で採れた旬！な自家消費食材

Cover photo

弘前大学の学生が町内で実施したフィールドワークの様子

弘前大学の学生が町内でフィールドワークを実施。

食品検査所の職員も参加しました。

(令和7年9月撮影)

3年間総まとめ！山菜の調査報告

富岡町食品検査所では、町内で栽培・採取された食品などの放射性セシウム濃度検査を随時受け付けています（土日・祝日・年末年始を除く）。

今回は、令和5年から令和7年に町内で採取された山菜について、非破壊式放射能測定器（そのままはかるNDA）による検査結果から、品目別と地区別の放射性セシウム濃度の現状についてご報告します。



■ 品目別でみた放射性セシウム濃度の検査結果

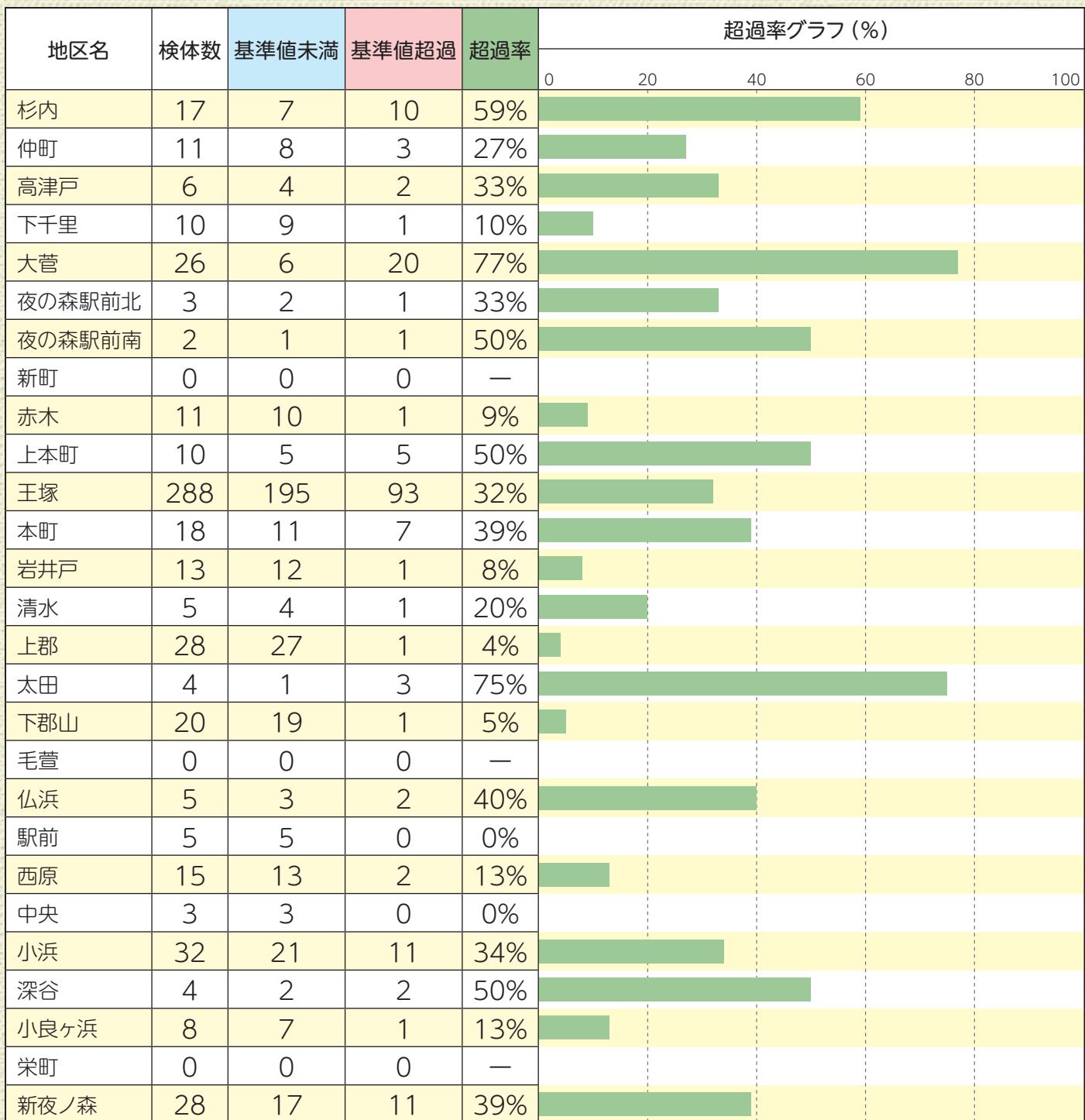
品目	年	検体数	基準値未満	基準値超過	超過率	超過率グラフ (%)					
						0	20	40	60	80	100
ウド	令和5年	7	6	1	14%	<div style="width: 14%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和6年	1	1	0	0%						
	令和7年	6	3	3	50%	<div style="width: 50%; background-color: #6aa84f;"></div>					
コシアブラ	令和5年	2	0	2	100%	<div style="width: 100%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和6年	3	0	3	100%	<div style="width: 100%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和7年	0	0	0	—						
シドケ	令和5年	2	2	0	0%						
	令和6年	3	2	1	33%	<div style="width: 33%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和7年	1	1	0	0%						
ゼンマイ	令和5年	4	0	4	100%	<div style="width: 100%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和6年	5	2	3	60%	<div style="width: 60%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和7年	5	0	5	100%	<div style="width: 100%; background-color: #6aa84f;"></div>					
タケノコ	令和5年	136	89	47	35%	<div style="width: 35%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和6年	160	102	58	36%	<div style="width: 36%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和7年	101	69	32	32%	<div style="width: 32%; background-color: #6aa84f;"></div>					
タラの芽	令和5年	8	6	2	25%	<div style="width: 25%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和6年	14	9	5	36%	<div style="width: 36%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和7年	7	4	3	43%	<div style="width: 43%; background-color: #6aa84f;"></div>					
フキ	令和5年	16	16	0	0%						
	令和6年	6	6	0	0%						
	令和7年	20	19	1	5%	<div style="width: 5%; background-color: #6aa84f;"></div>					
フキノトウ	令和5年	3	3	0	0%						
	令和6年	4	4	0	0%						
	令和7年	11	11	0	0%						
ワラビ	令和5年	15	11	4	27%	<div style="width: 27%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和6年	10	7	3	30%	<div style="width: 30%; background-color: #6aa84f;"></div>					
	令和7年	14	11	3	21%	<div style="width: 21%; background-color: #6aa84f;"></div>					
その他	令和5年	2	2	0	0%						
	令和6年	4	4	0	0%						
	令和7年	1	1	0	0%						

*放射性セシウムの基準値（一般食品：100Bq/kg） *「その他」は検体数が少なかった品目のセリとヨモギをまとめた数値

検査結果では、コシアブラやゼンマイは基準値超過の割合が高い一方で、フキやフキノトウは基準値超過の割合が低いです。また、他の品目については、およそ3割前後が基準値超過となっています。

なお、放射性セシウムが蓄積しやすい土壌の浅い層に根を張るコシアブラのような植物は、放射性セシウム濃度が高くなる傾向があると言われています。

■ 地区別でみた放射性セシウム濃度分布



持ち込まれた検体数に差はありますが、町内各所で放射性セシウム濃度の基準値を超過するものがあります。山菜を採取する場所は山林や竹林等が多いため、土壤の放射性セシウムが移行したと見受けられます。また、セシウム137の半減期は30年と長いため、現在でもその影響があると考えられます。山菜は放射性セシウム濃度が高いものがありますので、採取した際は富岡町食品検査所にお持ちください。

注意 町内の野生山菜等の採取・出荷等について

町内の野生山菜等は福島県による緊急時環境モニタリング検査（放射能濃度検査）が十分に実施されていません。現時点では安全性が確認されていない状況にあります。安全が確認されていないことから、採取する際にも注意が必要であり、一部の森林では空間放射線量率が非常に高い可能性があります。不必要な立ち入りや、立ち入り自体出来ない地域もありますので、そういう場所での採取は控えてください。

(福島県相双農林事務所)

弘前大学の学生が 富岡町でフィールドワークを実施

9月22～23日に弘前大学の教員3名と学生4名が訪れ、町内でフィールドワークを行いました。

これは教養教育「物理学の世界—環境放射線計測学演習一」の一環で、環境中での放射線モニタリング方法の習得を目的にしています。

この演習は2023年度から町内で始まり、今回が3回目の実施です。今回の演習には食品検査所の職員も参加し、空間線量の測定や環境試料(土壤や空気を浮遊する塵)の採取方法を学びました。

また、食品検査所では、町内で採れた野菜等の検査方法や町内産食品の放射能について学びました。



in
フィールド
ワーク



at
富岡町
食品検査所



弘前大学 理工学部3年

吉田 百華 (福島県広野町出身)

今回のフィールドワークでは、放射線に関する基礎知識をはじめ、測定機器の仕組みや計測の流れ、機器の設置方法などについて学びました。特に、土壤試料の採取は初めての経験であり、とても印象に残りました。実際に作業を行うことで、貴重な経験を積むと同時に、このような作業の重要性についても理解を深めることができました。とても実りのあるフィールドワークとなりました。

弘前大学 理工学部3年

土屋 百母 (北海道函館市出身)

実際のフィールドワークでは、これまで講義で学んだ測定機器の知識だけでなく、自然の中だからこそ様々な工夫が必要だということに大きな気づきを得られました。また、環境中の放射線計測は難しい反面、実際にその土地を利用する方々の役に立つことができる、やりがいのある仕事になると感じました。



弘前大学 理工学部3年

沼畑 晴大 (青森県おいらせ町出身)

講義で学んだ放射線計測を実際に体験することができました。長時間、屋外で計測するのは大変でしたが、放射線計測の方法についての理解が深まる貴重な体験をすることができました。

空気中の塵の採取



ダストサンプラーを使って
空気中の塵をフィルター上に採取

空間線量の測定



どのような放射性物質から
どれくらいの量の放射線が
出ているかを調査

土壌の採取

採土器を使って土壌を採取



食品の放射性物質検査

食品検査の手順や注意点を
富岡町食品検査所にて学ぶ



講義担当教員 弘前大学被ばく医療総合研究所 大森 康孝准教授（茨城県出身）

この3年間、町民の皆様には野外演習の実施で大変お世話になっています。富岡町内での演習は、座学や大学内での演習では得ることができない学生にとって貴重な学びの場となっています。特に、町民の皆様に真摯に向き合う食品検査所の活動は、教員では学生へ教えることができません。また、原子力災害の教訓を後の世代に伝えることも、この演習の役割の一つだと考えています。この演習は来年度も実施する予定です。町民の皆様には引き続き本演習へのご支援をよろしくお願ひいたします。



大森准教授

富岡町役場
健康づくり課
放射線健康管理係
斎藤 涉



普段食品検査所では使うことがない、ダストサンプラーやスペクトロメータを使い、空間線量を評価する手法について学ぶことができてとても勉強になりました。特に、ダストサンプラーを使い、空気中の塵を採取する手法においては、呼吸によって取り込んでしまう塵が持つ放射能を測定することができるので、とても役に立つ手法だと思いました。実習に対し学生さんたちも真剣に取り組んでおり、熱意を感じました。

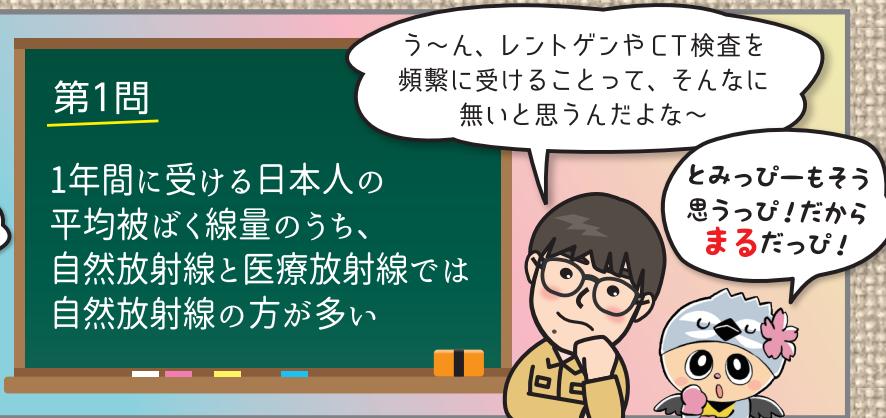
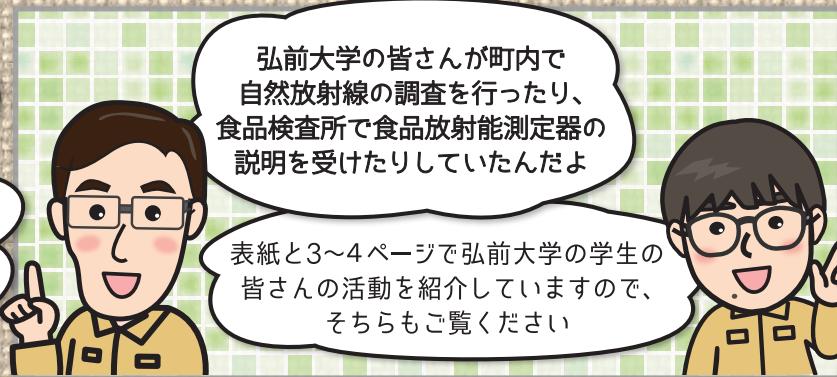
とみっぴーと学ぼう!

とみおか放射線ライズ

斎藤隊員

斎藤隊員

とみっぴー

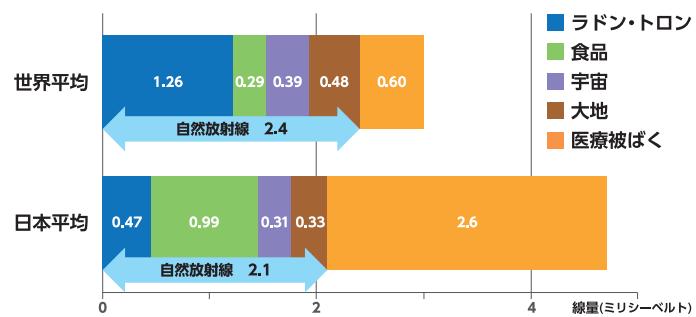


1年間に受ける日本人の平均被ばく線量は4.7ミリシーベルトであり、そのうち2.1ミリシーベルトが自然放射線から、医療被ばくが2.6ミリシーベルトと推定されています。医療被ばくの線量は個人差が大きいのですが、平均すると日本人の被ばく量は極めて多いことが知られています。特にCT検査が占める割合が大きくなっています。なお、世界の年間平均被ばく線量では、自然放射線が2.4ミリシーベルト、医療被ばくによる線量は0.6ミリシーベルトとなっています。

身の回りの放射線

年間当たりの被ばく線量の比較

日常生活における被ばく(年間)



放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料(令和6年度版)を基に作成

第2問

人の身体からも放射線は出ている

わかった！
(っぴ！)

お、二人同時に
わかったみたいだね
では答えをどうぞ

せーの／＼

まる！
(だっぴ！)

二人とも
大正解！

食事等で体内に取り込まれた放射性物質から、放射線が出ています。人の身体から放射線を出す放射性物質として、主にカリウム 40 があります。カリウムは動植物に必要な元素であり、ほとんどの食品に含まれています。

ライフヒミおか
Vol.28の
とみおか放射線クイズ
で勉強したっぴ！

僕もそれで
勉強したよ

二人とも
よく勉強して
いますね



ライフヒミおか Vol.28
「とみおか放射線クイズ」

最後は
とみっぴーからの
問題だっぴ！

第3問

滝川ダムの総貯水容量は東京ドームで例えると10個分以上である

これは…
わからないな～

降参！

正解はばつだっぴ！

滝川ダムの総貯水容量は約59億4000万m³で、東京ドームは1個あたり約12億4000万m³だから、約4.8個分だっぴ！

よく知ってたね
とみっぴー

僕も負けて
られない！

二人に内緒で
いっぱい勉強してるっぴ

「とみおか放射線情報まとめサイト」には放射線に関するクイズがたくさんあるよ！
みんなで解いてみよう！



「とみっぴーと学ぼう!とみおか放射線クイズ」
<https://tomioka-radiation.jp/quiz.html>

とみおか放射線情報まとめ

検索



町内で採れた 旬!な食材



令和7年8月から10月
放射性セシウム濃度結果

■野菜・いも・豆類 計10種 40検体



単位: Bq/kg

■果物類 計7種 12検体



■魚介類 計1種 1検体



上記は全てスクリーニングレベル未満でした。

スクリーニングレベル超過



*測定器: 非破壊式放射能測定器(そのままはかるNDA)

*スクリーニングレベル(50Bq/kg): 国が定めた検査において、一般食品の基準値(100Bq/kg)を確実に下回ると判定するための値(合否の判定)です。

*ND(不検出): 測定結果が「ND」となっている場合は、測定値が検出限界値未満であることを示しています。

*上記の結果は、富岡町食品検査所に持ち込まれ測定したものであり、全てに当てはまるものではありません。

ライフ*とみおか

発行・編集 富岡町役場 健康づくり課

〒979-1192 富岡町大字本岡字王塚 622 番地の 1
TEL.0240-22-2111

とみおか放射線情報まとめサイト
<https://tomioka-radiation.jp/>



31